



Cisco CallManager への Cisco ATA の追加

Cisco ATA を設定して、設定ファイルをバイナリ ファイルに変換し、ファイルを Cisco CallManager TFTP サーバに保管した後は、Cisco ATA を Cisco CallManager に登録する必要があります。

Cisco CallManager 管理者は、Cisco CallManager 環境に基づいて、3 つの登録方法から最適なものを決定する必要があります。

- [手動による Cisco ATA の追加 \(P.4-2\)](#) : Cisco CallManager に追加する Cisco ATA が少数である場合、この方法を使用できます。
- [Cisco Bulk Administration Tool \(BAT\) の使用 \(P.4-4\)](#) : 多数の Cisco ATA を Cisco CallManager に追加する必要がある場合、最も一般的な方法です。
- [自動登録の使用 \(P.4-4\)](#) : この方法は、デフォルトで無効になっています。この方法が有効になっている場合、特定の Cisco CallManager に接続されたデバイスはすべて自動登録されます。特定の Cisco CallManager に接続された Cisco ATA のみを自動登録することはできません。

Cisco CallManager 3.2 以降の場合、Cisco ATA を、(デバイスが Cisco ATA 186 または Cisco ATA 188 のいずれであるかに関係なく) **Cisco ATA 186** デバイス タイプとして登録します。Release 3.2 より前のバージョンの Cisco CallManager を使用している場合、Cisco ATA を **Cisco 7960** デバイス タイプとして登録する必要があります。



(注)

Cisco ATA という用語は、このマニュアルを通じて Cisco ATA 186 と Cisco ATA 188 の両方を示します。Cisco ATA 186 と Cisco ATA 188 に違いがある場合は、特に明記します。

手動による Cisco ATA の追加

Cisco CallManager の管理ページを使用して Cisco ATA を手動で追加するには、次の手順を実行します。



ヒント

Cisco CallManager を使用してヘルプを表示するには、メインメニューバーから **Help > For this page** を選択してコンテキスト ヘルプにアクセスします。

手順

ステップ 1 Cisco CallManager の管理ページにログインします。

メニューバーから **System > Cisco CallManager** を選択します。Cisco CallManager Configuration 画面が表示されます。

ステップ 2 Cisco CallManager Configuration 画面で、次の手順を実行します。

- a. Cisco CallManager のリストから、設定する Cisco CallManager の IP アドレスまたは名前をクリックします。
- b. 表示されるフィールドに、同一の Starting Directory Number 値および Ending Directory Number 値を入力します。
- c. **Auto-registration Disabled on this Cisco CallManager** という設定がオンになっていることを確認します。
- d. **Update** ボタンをクリックします。

ステップ 3 Cisco CallManager の管理ページのメニューバーで **Device > Phone** を選択して、Find and List Phones 画面を表示します。

ステップ 4 **Add a New Phone** リンクをクリックして、Add a New Phone 画面を表示します。

ステップ 5 Phone Type ドロップダウンリストから、次のように選択します。

- a. Cisco CallManager バージョン 3.0 または 3.1 を使用している場合、**Cisco 7960** を選択します。
- b. Cisco CallManager バージョン 3.2 を使用している場合、**Cisco ATA 186** を選択します。

ステップ 6 **Next** をクリックします。Phone Configuration 画面が表示されます。

ステップ 7 Phone Configuration 画面で、次のフィールドに情報を入力する必要があります。

- **MAC Address** : Cisco ATA の MAC アドレスを入力します。
- **Device Pool** : ドロップダウンリストから **Default** 値または設定されているデバイス プールを選択します。
- **Phone Button Template** : ドロップダウン リストから、Cisco CallManager バージョン 3.0 または 3.1 を使用している場合は **Standard 7960** を選択し、Cisco CallManager バージョン 3.2 を使用している場合は **Standard ATA 186** を選択します。

ステップ 8 **Insert** ボタン (Cisco CallManager バージョン 3.2 では **Update** ボタンと呼ばれます) をクリックします。

Cisco CallManager の管理ページから、デバイスがデータベースに追加されたことが通知されます。さらに、この時点で **Phone 1** ポートの電話番号を割り当てかどうかを確認するメッセージが表示されます。

OK をクリックします。

ステップ 9 Directory Number フィールドで、電話番号を Cisco ATA に割り当てます。

ステップ 10 Partition ドロップダウン リストでは、Cisco ATA のパーティションを選択するか、またはデフォルト値の **None** のままにしておくことができます。

ステップ 11 **Insert** ボタン (Cisco CallManager バージョン 3.2 では **Update** ボタンと呼ばれます) をクリックします。

ポップアップ ウィンドウに、現在のデバイスのページに戻るかどうかを確認するメッセージが表示されます。**OK** をクリックします。

ステップ 12 第 2 の FXS ポートを Cisco CallManager に追加する場合、ステップ 3 に戻り、そこから実行します。

Cisco ATA MAC アドレスから左端の 2 桁を削除し、右端に **01** を追加して、**Phone 2** ポートの MAC アドレスを作成する必要があります。

例

Cisco ATA の MAC アドレスが *00070EA26032* の場合、作成される **Phone 2** ポートの MAC アドレスは *070EA2603201* になります。



(注) デフォルトで、両方の Cisco ATA FXS ポートは、Cisco CallManager の登録に対して有効になっています。**Phone 2** FXS ポートを Cisco CallManager に追加しない場合は、Cisco ATA *EPID1orSID1* パラメータ値を **0** に変更して **Phone 2** ポートを無効にする必要があります (**Phone 1** ポートを無効にするには、*EPID0orSID0* パラメータ値を **0** にする必要があります)。

Cisco Bulk Administration Tool (BAT) の使用

Cisco Bulk Administration Tool (BAT) は、Cisco CallManager 用のプラグイン アプリケーションです。BAT を使用すると、多数の Cisco IP Phone および Cisco ATA に対して、登録などのバッチ操作を実行できます。

BAT を使用して Cisco ATA を Cisco CallManager に追加する方法については、『*Bulk Administration Tool Guide for Cisco CallManager*』を参照してください。

BAT ツールを使用する場合、次のことを知っておく必要があります。

- Phone Type ドロップダウン リストを使用するとき、デバイス タイプを次のように選択します。
 - Cisco CallManager バージョン 3.0 または 3.1 を使用している場合、**Cisco 7960** を選択します。
 - Cisco CallManager バージョン 3.2 を使用している場合、**Cisco ATA 186** を選択します。
- Phone Configuration 画面を使用するとき、次のフィールドに情報を入力する必要があります。
 - MAC Address : Cisco ATA の MAC アドレスを入力します。MAC アドレスは、Cisco ATA の底部にラベル表示されています (atapname.exe ツールを使用して Cisco ATA の MAC アドレスを特定することもできます)。このツールの使用方法については、P.3-14 の「atapname.exe ツールを使用した MAC アドレスの入手」を参照してください。
 - Device Pool : ドロップダウン リストから **Default** 値または設定されているデバイス プールを選択します。
 - Phone Button Template : ドロップダウン リストから、Cisco CallManager バージョン 3.0 または 3.1 を使用している場合は **Standard 7960** を選択し、Cisco CallManager バージョン 3.2 を使用している場合は **Standard ATA 186** を選択します。
- 第 2 の Cisco ATA FXS ポートを Cisco CallManager に追加する場合、Cisco ATA MAC アドレスから左端の 2 桁を削除し、右端に **01** を追加して、**Phone 2** ポートの MAC アドレスを作成する必要があります。

例

Cisco ATA の MAC アドレスが *00070EA26032* の場合、作成される **Phone 2** ポートの MAC アドレスは *070EA2603201* になります。



(注) デフォルトで、両方の Cisco ATA FXS ポートは、Cisco CallManager の登録に対して有効になっています。**Phone 2** FXS ポートを Cisco CallManager に追加しない場合は、Cisco ATA *EPID1orSID1* パラメータ値を 0 に変更して **Phone 2** ポートを無効にする必要があります (**Phone 1** ポートを無効にするには、*EPID0orSID0* パラメータ値を 0 にする必要があります)。

自動登録の使用

新しい Cisco ATA が IP テレフォニー ネットワークに接続するとき、Cisco CallManager が新しい電話番号を自動的に割り当てるようにする場合、自動登録を使用します。Cisco ATA が自動登録された後は、Cisco ATA を新しい場所に移動して、その電話番号に影響を与えることなく別のデバイス プールに割り当てることができます。

自動登録を実行するには、次の URL で該当するバージョンの『*Cisco CallManager Administration Guide*』を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/products_administration_guide_books_list.html